

令和5年7月3日 発表

中小企業月次景況調査結果

令和5年5月分

～令和5年5月 データから見た業界の動き～

令和5年7月3日 発表

大型連休とコロナ5類移行により景況感は回復するも
先行きの仕事確保と見通しに課題あり



山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

～令和5年5月 データから見た業界の動き～

令和5年7月3日 発表

大型連休とコロナ5類移行により景況感は回復するも 先行きの仕事確保と見通しに課題あり

■ 概 況

5月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 +8ポイント（前年同月比12ポイント↓）

収益状況 +2ポイント（前年同月比28ポイント↑）

景況感 +4ポイント（前年同月比10ポイント↑）となり、

収益状況・景況感のD.I値は前年同月を上回ったが、売上高は前年より低下した。前月比では全てのD.I値が15ポイント以上改善、平成30年8月以来全てのD.I値がプラスとなった。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲5ポイント（前年同月比 35ポイント↓）

収益状況 ▲20ポイント（前年同月比 15ポイント↑）

景況感 ▲10ポイント（前年同月比 15ポイント↓）となった。

収益状況は前年同月と比べ好転したが、原材料価格やエネルギーコスト高騰分の転嫁の状況は業種によって大きく偏りがあり、数値の改善が製造業全体の傾向とは言えない状況である。

一方で、売上高D.I値が前年同月を大きく下回った（▲35ポイント。）生産用機械器具製造業では、コロナ5類移行により航空機部品の需要の高まりによる受注量の増加に期待する声があったが、電気機械器具製造業では、医学機器・光学機器に関する設備投資の減少に伴う受注量の減少が深刻であり、手の打ちようがないと、製造業全体としては先行きが暗い状況が伺えた。

非製造業では…

売上高 +17ポイント（前年同月比 4ポイント↑）

収益状況 +17ポイント（前年同月比 37ポイント↑）

景況感 +13ポイント（前年同月比 26ポイント↑）となり、

すべてのD.I値が前年同月の数値を上回った。特に収益状況は+37ポイント・景況感+26ポイントとなった。全てのD.I値がプラスとなったのは平成30年11月以来。大型連休のタイミングにコロナ5類移行となったことで、人流が大きく変化し宿泊業・警備業では仕事量・売上が増加した。一方で青果小売業では「大型連休の終了と同時に客足は減少、売上げ・収益状況ともに▲5%となった」や、食肉小売業では、「仕入れ価格の値上がり分の転嫁が進まなければ、厳しい状況は変わらない」と、先行きに対する見方は厳しい。

運送業では、ドライバーの時間外労働時間が制限される「2024年問題」への対応に迫られる中で、女性の活躍や外国人材の活用など、事業存続のため業界としてあらゆる手段を模索する必要があるとの声が聞かれた。

製造業・非製造業ともに前月と比べると全てのD.I値が好転したが、物価高騰や人手不足などによる厳しい経営環境は続いている。そのうえ、経営者の高齢化・後継者の不在による事業の継続を断念する事業者の増加が危惧される。

織物業では、組合員のみならず、加工業者（糸を撚る「撚糸」、生地に入色を入れる「染色」、経糸を整える「整経」など）の廃業による産地存続の危機に直面しており、「後継者育成のための環境づくりなど、各業種が連携して対策を講じる必要がある」との声が聞かれた。

個々の企業努力には限界がある中で、中小企業者・小規模事業者が今後も事業活動を続けていくために、同じ課題や問題を抱える者同士の連携の力が求められている。

■ 調査員からの国等への要望・コメント ピックアップ!

組合員間において労働力にばらつきがあるので、組合員間の従業員のトレード（出向）が容易にできるよう労働基準法の改正を求める。

業界からのコメント

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	コロナ禍の終息が見えはじめ人流が回復し、宿泊施設・土産物売店向け商品の需要が増加し、売上は前年度月比120%となった。
食料品 (洋菓子製造業)	店舗拡大効果により売上は前年同月比112%となった。
食料品 (麺類製造)	外国人観光客が増加したが、組合としては影響を感じない。
食料品 (パン・菓子製造業)	原材料・包材等の価格の高騰により収益確保が困難な状況が続いている。取引先との交渉の結果、7月から販売価格の値上げが決定した。
繊維・同製品 (織物)	生糸の価格高騰や円安により、郡内産地の事業者は収益の確保が困難な状況が続いている。また、織物業だけでなく加工業者（撚糸、染色、整経）の事業承継・継続が課題であり、組合を持たない業種もあるため、産地全体の課題として、各業種が連携して対策を講じる必要がある。
繊維・同製品 (織物)	裏地部門▶原材料（キュブラ）の入荷不足と価格高騰により厳しい状況は変わらない。 インテリア部門▶コロナの規制緩和により、少しずつではあるが受注量が回復している。 ネクタイ部門▶絹糸価格の高騰や円安が直撃している。本来は30%ほど製品価格を値上げしたいが、クールビズによる消費者離れを考え、10%ほどの値上げに留めている。 その他▶組合員の高齢化が進んでいるため、後継者育成のための環境づくりが急務である。また、加工業者は機械を24時間稼働させているため、電力価格の高騰が死活問題である。
木材・木製品製造	前年同月と比べ売上5%増加となったが、見積件数が少なく、忙しくなる見通しはない。
窯業・土石 (砂利)	工事の件数が少なく製品の需要が減少しているため、前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲10%となった。
窯業・土石 (山碎石)	電力価格や諸資材の価格高騰分の転嫁が進まず、前年同月と比べ売上▲14%、収益状況は▲15%となった。リニア関連工事の進展による発注量の増加が頼みの綱である。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	5月の仕事量は前年同月と比べ若干上向きとなり、売上は2%増加したが、収益状況は▲2%となった。
一般機器 (業務用機械器具製造業)	前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲10%となった。原材料と電力価格の高騰による収益状況の悪化が、景況感回復の足かせになっている。

<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>コロナ5類移行により航空業界が動き始めた為、今後の業界の景況は若干好転することを予測している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げ▲20%となった。若干ではあるが、半導体部品の納期遅延が回復傾向である。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>医療機器・光学機器など受注量の落ち込みが深刻であり、手の打ちようがなく、前年同月と比べ売上げ▲40%、収益状況▲30%となった。</p>
<p>宝飾 (研磨)</p>	<p>5月は大きな展示会やミネラルショー（宝石や鉱物の見本市）が開催されたため、多くの組合員が出展した。</p>

● 非製造業

<p>卸売 (ジュエリー)</p>	<p>アメリカのシリコンバレー銀行の破綻により、安全資産とされる「金」の需要が高まっている。円安の影響もあり、5月には1グラム=9,794円と過去最高となった。加えて、世界的な品薄の影響で色石やダイヤモンドなどの価格高騰も続いており、ジュエリーの国内需要は回復傾向であるが、収益状況の悪化、在庫不足が課題である。 また、コロナ5類移行により観光客の増加を感じるが、小売店の客足は伸び悩んでいる。</p>
<p>小売 (青果)</p>	<p>大型連休の終了と同時に客足は減少、売上げも伸びず、前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに▲5%となった。</p>
<p>小売 (食肉)</p>	<p>コロナ5類移行により、飲食店、宿泊施設の客足が順調に回復しているが、仕入れ価格の値上がり分の価格転嫁が進まなければ、厳しい状況は変わらない。</p>
<p>小売 (水産物)</p>	<p>前年同月と比べ売上げ▲10%となった。6月から仕入れ価格がさらに上昇するが、販売価格の値上げは考えていない。</p>
<p>小売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>5月は省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）の売れ行きが前年同月を大きく上回ったことで、前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに5%好転した。夏に向けてエアコンの需要がさらに増加することを期待している。</p>

小 売 (ガソリン)	「燃料油価格激変緩和対策事業」の補助額は6月から段階的に減少し、現在の1リットル当たり12円程度の補助も9月末にはなくなる予定である。原油価格や為替の動向にもよるが市場価格の混乱を懸念している。
商 店 街	コロナ5類移行により大月駅の利用客が増加したことで、組合が管理する駐車場の売上げは増加したが、消費者の購買形態の変化（オンラインショッピングの需要増加など）や店舗数の減少により、商店街の客足は回復していない。
宿 泊 業	コロナ5類移行により人流が増加し、大型連休中は多くの宿泊施設が満室となった。今後も国内外の観光客の増加に期待しているが、電力・水道・ガスの価格上昇が収益回復の足かせとなっている。
宿泊業	外国人旅行者が堅調に増加しており、前年同月と比べ売上げは70%増加したが、人手不足により受け入れ態勢が十分に構築できていない宿泊施設が多い。
産業廃棄物処理	前年同月と比べると収益状況は2%好転したが、電力や燃料価格の高騰により収益の確保が困難な状況が続いている。人手不足や設備の修繕費が増加していることも課題である。
警 備 業	大型連休中は、観光客の増加により駐車場等の警備依頼が多く、例年と比べ公共工事の着工数も多かったことから、前年同月と比べ売上げ15%増加、収益状況は10%好転した。6月以降は花火大会等のイベントが増加するが、警備員不足が深刻であり需要の高まりに対応することができるか懸念している。
建 設 業 (総 合)	5月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は9.5%、請負金額は1%増加した。5月末累計の件数は▲4.9%、請負金額は▲12.6%となった。
建 設 業 (型 枠)	請負単価が上がらず、収益状況の悪化によりベースアップができないため、人材を募集しても応募がない。仕事量は徐々に増加しているが、人手不足により受注を断る事態が発生している。
建 設 業 (鉄 構)	前年同月と比べ売上げ▲5%となった。工期や決定図面の遅れにより中期的な工程が組めず、週休2日制を目指す働き方改革への対応が進まない。
設 備 工 事 (電 気 工 事)	コロナ5類移行による経済活動の活性化を感じているが、電気工事や一般建設業まで景気回復の影響が波及するまでは、まだ時間がかかると感じている。
設 備 工 事 (管 設 備)	県内の新設住宅の着工戸数及び床面積ともに前年同月と比べ減少し、売上げ▲14%となったが、収益状況は41%好転した。

運 輸 (タクシー)	週末夜間の客足増加により、前年同月と比べ売上げが10%増加した。人手不足のためタクシーの稼働効率が悪化していることが課題である。
運 輸 (バ ス)	前年同月と比べ売上げは10%増加したが、人手不足が深刻である。
運 輸 (トラック)	2024年問題や改善基準告示等の規制強化が迫る中、ドライバー不足が深刻である。女性の活躍や外国人材の活用など、業界としてあらゆる手段を模索しながら、事業存続のため本腰を入れる必要がある。
その他 (介護)	保険料収入と利用者負担収入の割合の変化はあったが、売上高（介護サービス利用量）は例年並みとなった。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2022年5月	2023年4月	2023年5月	2022年5月	2023年4月	2023年5月	2022年5月	2023年4月	2023年5月
売上高	30	▲ 20	▲ 5	13	3	17	20	▲ 6	8
収益状況	▲ 35	▲ 35	▲ 20	▲ 20	▲ 13	17	▲ 26	▲ 22	2
景況感	5	▲ 35	▲ 10	▲ 13	3	13	▲ 6	▲ 12	4

※((良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

